

令和2年第7回産業建設常任委員会 要点記録													
開閉会日時		令和2年7月21日（火曜日）			開会	9:54		会議場所		委員会室 2・3			
					閉会	11:18							
委員の出欠		1 番	宮越 正人	出席	6 番	大内 省吾	出席	9 番	今西 和雄	出席			
		10 番	小林 敏之	出席	11 番	瀧川 榮子	出席						
出席説明員	産業振興部	産業振興部長			産業振興部次長兼水産みどり課長			農政課長		商工観光課長			
		門脇 芳則		出席	小湊 昌博		欠席	小野 武史		出席	田畑 直樹		出席
		農政課主幹			商工観光課主幹			商工観光課主幹		水産みどり課主幹			
		上田 健一		出席	岩口 裕昭		出席	堀込 美穂		出席	大坂 恒夫		出席
		農政課主査			農政課主査			水産みどり課主査					
		武田 文吉		出席	寺澤 淳司		出席	古里 達也		欠席			
	建設水道部	建設水道部長			建設水道部次長兼管理課長			事業課長		建築住宅課長			
		山岸 英一		出席	伊藤 一成		出席	袴田 充輝		出席	川畑 智明		出席
		上下水道課長			事業課主幹			上下水道課主幹		管理課主査			
		外石 昭博		欠席	廣島 静治		出席	福原 仁史		欠席	前道 陽司		出席
		管理課主査			建築住宅課主査			建築住宅課主査		事業課主査			
		伊藤 武史		出席	入田 浩明		出席	篠田 敬介		出席	佐竹 和仁		出席
		事業課主査			上下水道課主査								
	農業委員会	農業委員会事務局長			農業委員会主幹			農業委員会主査					
		中村 公一		欠席	棧木 直人		欠席	藤巻 成司		欠席			
	委員外の出席		議長		西原 浩					合計		1名	
	事務局職員		事務局長		小島 実					合計		1名	
	傍聴者数		一般		0名	報道関係者		0名		合計		0名	
	会議に付した事件及び会議結果など												
	発言者			会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。									
委員長	9番	今西	9:54 開会										
			出席委員5名、委員外出席1名、会期1日										
委員長	9番	今西	挨拶										
			【建設水道部所管事務調査】										
建設水道部長		山岸	挨拶及び概要説明										
委員長	9番	今西	議事1 所管事務調査について										
			(1) 法定外道路の管理状況について（資料で説明）										
			・P2～P3 別海町法定外道路管理条例について ・P5～P9 法定外道路台帳（市街・郊外の路線数、延長、路線調書） ・P10 法定外道路（農道台帳） ・P11～P12 法定外道路位置図										
建設水道部次長		伊藤	管理条例第2条で法定外道路の定義は、町が所有する道路敷地にあり現に一般車両が通行している未改良道路または農道などの道路法が適用とならない道路として位置付けしている。維持管理については住宅の張り付けや交通量の状況により管理路線を選定している。 P5～未供用（未改良）路線として、53路線で延長11.1kmとP10農道で33路線で59.7km、全体で86路線、総延長70.8kmを管理している。 管理の方法ですが、維持補修は委託業務の巡回路線とし、必要に応じ補修及び除雪を行っている。 その他 第4条、第8条の規定により道路占用などの承認および許可事項の審査や占用料の徴収を行っている。										

令和2年第7回産業建設常任委員会 要点記録

委員長 9番 今西
委員 1番 宮越
建設水道部次長 伊藤

質疑

- ・法定外道路の維持補修は年間どのくらいあるのか。
- ・巡回パトロールは3日に1回行っている。郊外地の砂利道は路面の状況を見てグレーダで整正。市街地近郊については草刈業務を行っている。
- ・法定外道路は砂利道なのか。
- ・未改良道路は砂利。農道は根室振興局が事業主体となって行った工事で舗装済み。
- ・資料を見ると法定外道路は市街地に多く、郊外地は少ないと思うがどうか。
- ・郊外地道路については、すべて町有地（道路敷地）内にある道路。
- ・耕作道路などの号線（道路敷地）の管理はどうなっているのか。
- ・底地に道路敷地が確保されているかどうかを考える。号線敷地は国の土地であるので町は管理できない。何らかの対応が必要であれば、道路管理とは違う形での対応が必要と考える。
- ・法定外道路を町道に盛り込む予定は。
- ・市街地は町道として舗装化整備計画を考えているが、郊外地道路は現状の法定外で維持したい。

委員長 9番 今西
建設水道部次長 伊藤
委員長 9番 今西
建設水道部次長 伊藤

委員長 9番 今西
建設水道部次長 伊藤

議事2 所管事務調査、その他について

（1）上下水道料金の減免について

- ・コロナ関連の経営支援として、上下水道料金の減免を4月から7月までの4か月実施してきたが、状況を踏まえ8月分は実施しないこととした。
- ・3月から7月までの優遇措置はしたが、6月から8月の方が厳しい業種がある。減免を検討できないか。
- ・今回は、飲食業と宿泊業に限定して減免したが、他の業種についても今後状況に応じて検討したい。
- ・委員長、質疑してよろしいか。
- ・許可します。
- ・前回の減免が67件だったと思うが、4月～6月の実績を教えてください。
- ・減免実績を申し上げる。4月は 69件 802,460円
5月は 69件 875,161円 6月は 69件 772,173円
（減免漏れ 4～6月 尾岱沼1件 11,301円 6月で減免）
7月は 70件 905,592円 合計で 3,366,687円
- ・次回からコロナ関連の数字的なものは資料を提出願います。
- ・了解した。

委員 1番 宮越

建設水道部長 山岸

議長 西原

委員長 9番 今西

議長 西原

建設水道部長 山岸

委員長 9番 今西

建設水道部長 山岸

10:15 休憩

10:21 再開

【産業振興部所管事務調査】

産業振興部長 門脇

挨拶及び概要説明

委員長 9番 今西

議事1 所管事務調査について

（2）新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策について

- ・感染症対策事業実施状況を資料により説明（7月17日現在）

①中小企業等経営持続化補助金（3月・4月分）

6月23日以降分 34件 10,929千円交付済み

（飲食業・宿泊業 9件 2,291千円 その他 25件 8,638千円）

②中小企業等経営持続化補助金（既申請者追加交付分）

56件 4,268千円交付済み

（飲食業・宿泊業 31件 2,629千円 その他 25件 1,639千円）

商工観光課主幹 堀込

令和2年第7回産業建設常任委員会 要点記録

③中小企業等経営持続化応援金（5月分）

95件 18,250千円交付済み
（飲食業・宿泊業 41件 7,652千円 その他 54件 10,598千円）

④町内宿泊業等経営持続化支援金

宿泊業 6件 2,576千円交付済み

⑤中小企業等休業等要請協力支援金

31件 2,250千円交付済み
（飲食業・宿泊業 26件 1,950千円 その他 5件 300千円）

・予算56,000千円に対し 52,269千円の執行 執行率93%

・今後の経済対策につて ～ 7/27町議会臨時会に上程予定

プレミアム商品券の発行

プレミアム率50% 500円/枚⇒250円プレミアム

セット単位販売 15枚/セット 10枚を購入し、5枚がプレミアム

15枚のうち 2枚は飲食・宿泊専用券、3枚は大型店を除く町内店舗
専用券。販売枚数は25,000セット。

・アイスdeスクラッチ事業の実施状況について

この事業は新型コロナウイルス地方創生臨時交付金として、牛乳・乳製品の消費拡大を図るとともに、町内の飲食店等と連携した取り組みをすることで町内に活気を取り戻すきっかけ作りとなると考え、町内にある飲食店等で食事などをしてもらった後に、1会計につき1枚スクラッチカードを店舗利用者に配布し、当たり1枚（はずれ3枚）で、べっかい乳業興社のアイスクリーム3個と引き換える内容で、今月10日から実施している。

7/16現在 700人 2,500個ほどの引き換えがあった。参加店舗数71店舗中 9店舗がスクラッチ配布終了。8月いっぱい実施するので多くの方が町内店舗を利用してほしい。事業終了後は参加店舗のアンケートを実施し事業効果を検証したい。

質疑

・スクラッチは人気があり、店舗によっては3日で無くなったと聞いている。

8月以降も続ける予定はないか。

・店舗やお客様から好評を得ていることは認識している。継続については今後協議していきたい。しかし、この事業は8月31日で終了する。

・引き換え面で不便しているので、これから8月終了まで交換場所を増やす考えはないか。

・交換場所は、べっかい乳業興社、JA西春別Aコープ、尾岱沼漁港コミュニティセンターの3か所で配布しているが、周知の関係もあり交換場所を増やすことは難しい。

・尾岱沼、西春別については、こちらから冷凍庫を用意して対応している何か所も置くことは厳しい。

・予算では9,000個分準備しているが、5,000個くらい引き換えにすれば良いと考えているように感じる。もったいないので延長して何かできないか。

・冷凍庫も乳業興社から借りて西春別と尾岱沼に置いているが、交換場所での取り換えの数字を見込むことが難しい。現状では5,000～6,000個交換できれば良いと考えている。確かもったいないという声も考えられるので、最終的な個数で判断し所管としても何かして行かなければ

農政課長 小野

委員長 9番 今西

委員 11番 瀧川

農政課長 小野

委員 11番 瀧川

農政課長 小野

産業振興部長 門脇

委員 11番 瀧川

農政課長 小野

令和2年第7回産業建設常任委員会 要点記録

			と考えている。
委員	1番	宮越	・スクラッチはGoodアイデアで良い事業だが、参加店の冷凍庫に置くことは無理なのか。
農政課長		小野	・当たりの読みが難しい。店舗に置くことも考えたが、当たり個数の読みが難しいので、西春別と尾岱沼に交換の拠点を置いた。今後は、アンケート等をとった中でより良い形で継続できるようにしたい。
委員	1番	宮越	・コロナ補助金で冷凍庫の購入はできないのか。
産業振興部長		門脇	・この事業のために冷凍庫の購入は難しい。仮に購入しても各店舗での置き場所の問題や事業終了後の保管場所がない。（店舗の多いところではアイスを150個置かなければならない。）
			事業を活用していただけるように、また、余らさない方策も担当で検討させたい。
議長		西原	・委員長、質疑してよろしいか。
委員長	9番	今西	・許可します。
議長		西原	①3～5月の経済対策は行ったが、6月・7月の対策・調査はどうなっているのか。
			②プレミアム商品券の総事業費はいくらか。
			10:44暫時休憩 10:45再開
委員長	9番	今西	①宿泊業者については6月分の状況調査を行っている。今後も適宜調査を行っていきたい。それ以外の業種については、3月から5月に補助を受けた業者について調査を行いたいと考えているが、現時点では進んでいない。
商工観光課主幹		堀込	経済対策については、今後の調査状況を見た上で、国や道の家賃補助などの状況を見ながら検討して行きたい。
			②プレミアム商品券の総事業費は概算で72,000千円くらいである。
議長		西原	・6月分について今後調査を終えるのはいつ頃で、対策はいつ頃になるのか。
商工観光課長		田畑	・支援した方から、助成はいらないなどの様々な意見がある。商工会からも支援金から客の流れにシフトチェンジした方が良いのではないかとということもあり、プレミアム商品券で店に行ってください消費喚起を促す方法にしたいと考えている。ただし、3月・4月分の申請期間が7月いっぱい、5月分の申請期間が9月いっぱいとなっているので、7月が終わった段階でアンケートを取るか（取る理由が必要となる）、現金支援とするべきか、プレミアム商品券にシフトするか、アンケート調査を取る理由が定まっていない。今の段階でゴールデンウィークに客足が伸びなかった宿泊業者にアンケート調査は行っているが、どのような支援が良いかは8月に入ったら検討したい。
委員	1番	宮越	・業種によっては6月から8月の方が落ち込みが大きいと聞いているが、加工業等への調査をしてほしいが。
			・そのようなご意見があるのであれば、調査を検討したい。
商工観光課長		田畑	・持続化補助金は、5,600万円の予算に対して、5,200万円が補助されたと報告があった。当初の補助内容に課題があり拡充も行ったが、そろそろ次へのシフトを考えると行ったが、支援が必要とする事業者十分に届いたと考えているのか。
委員長	9番	今西	
商工観光課長		田畑	・当初アンケートにより制度設計したが、PDCAサイクルを行い検証した。想定した以上に困った業者が少ないのか、申請手続等に問題があるのかと見直しして拡充を行った。最初の制度設計が完璧なものとは思っていない、とにかく早くという考えで行った。事業を進める上で

令和2年第7回産業建設常任委員会 要点記録

		データが増えたので、より正確な制度設計となった。
		この1週間では、日1件程度の申請で落ち着いてきているが今後業種を広げてアンケートをとる必要があると考えている。
委員長	9番 今西	第1段階での評価は7月以降になるが、お金は必要ないと言う事業者の声もあり、お金を配らない支援の方が良いのかと考えているので、8月に入ってからアンケートを広く取って、どういう支援が良いか考えて行きたい。
		・今回の補助は一時的なものであるが、今後コロナ対策は収束の兆しが見えない中で、経済や生活を回していくことになるので、今後に向けての対応の方向性を議論しなければならない。今年限りで収束するとは考えられないので、スタートからの経過を見ながらの対応を考えてほしいが。
産業振興部長	門脇	・直接的な支援につきましては、釧路・根室管内の自治体の支援をみますと、本町が一番十分な支援をしていると思っている。国や道もGOTOキャンペーンや道民割りなど、支援をシフトした事業を行っていることもあり十分調査をしながら、町も違う形で支援することを考える時期だと思っている。他の自治体に比べて、相当な支援をしている中でも、今後の状況を見据えながら、必要な支援策をして行かなければならないと考えている。
委員	11番 瀧川	・商工会の申請事務は、会員以外の申請事務もあり骨を折られたと聞いているが、事務費の金額についての検証は行ったか。
商工観光課長	田畑	・商工会は営利目的の組織でないので手数料と言う概念がない。全国的にも手数料のルールはない。今回の手数料の会員1件 1,000円と会員以外1件 2,000円は、商工会から提案された金額で、商工会の言い値である。
委員長	9番 今西	(3) 各産業の担い手及び後継者対策について
農政課主査	武田	①別海町担い手支援協議会の取り組みについて（資料により説明）
		・令和元年度新農業人フェア等イベント出展及び学校・企業訪問実績
		・酪農体験受入れ実績
		・新規就農者等交流会
		・研修牧場入所者、修了者
		②別海町産業後継者対策相談所について（資料により説明）
		・設立経緯
		・役員等構成
		・主な活動
		・菊と緑の会実績
		・漁業青年の出会いの場実績
委員	1番 宮越	・漁業青年の出会いの場の女性は何処から来ているのか。
農政課長	小野	・釧路の婚活業者に委託し、根室・釧路管内から参加している。
委員長	9番 今西	・確認ですが、担い手支援の対象は農業青年。産業後継者対策は産業全般の後継者が対象か。
		・委員長のおっしゃるとおり。
農政課長	小野	議事2 その他について
委員長	9番 今西	・町営畜牛育成牧場の指定管理について
農政課長	小野	町営畜牛育成牧場は、平成24年度から(有)別海町酪農研修牧場が指定管理者として管理してきたが、平成26年度に道東あさひ農協の保育受託施設（キャトルセンター）を建設する際の町有地貸付に係る協議時に、キャトルセンター建設後については、町育成牧場と連動した委託サイクルの確立で受益者農家の負担軽減のメリットがあると考え

令和2年第7回産業建設常任委員会 要点記録

	将来的には道東あさひ農協が町育成牧場の指定管理業務を行うことで協議が始まった。当初平成30年4月を予定していたが、キャトルセンターの建設が遅れたことにより、令和3年4月からの指定管理者移行に向け進めていたが、農協から新型コロナウイルス感染症の影響により農協の組合員や理事に十分な説明が出来ないとして、1年間延長の打診があった。農協役員と町理事者で協議を行ったところ、令和4年4月移行に向け具体的な協議をすることとなった。 よって、令和3年4月からの1年間は(有)別海町酪農研修牧場が引き続き指定管理を行い、令和4年4月から道東あさひ農協が指定管理を行うことで考える。(指定管理者選択委員会及び選定委員会の決定が必要。)(有)別海町酪農研修牧場が選定された場合、本年12月議会に議案を提出し、来年においても同様の手続きを踏み、道東あさひ農協を指定管理者として令和3年12月議会に提出する予定である。	
商工観光課主幹 岩口	・ふるさと交流館のアンケートについて	
	アンケートについては、7/1から7/30まで行っている。 毎週金曜日回収。7/17現在 198件回収。	
商工観光課長 田畑	・道民割りの報告	
	第1次配分 620万円要求に対して30万円の交付決定。 変更配分 370万円の追加配当あり。 観光協会から8月広報で町内宿泊施設に泊まるよう町民に周知したい。	
委員長 9番 今西	閉会挨拶	
委員長 9番 今西	11:18 閉会	